

工事範囲について

当社では、エレベーターの設計から据付まで全て一貫して責任を持ってお引き受けしております。下記の項目については、除外工事としてエレベーターの見積りに含まれておりませんので、建築および電気工事会社側で施工くださるようお願いいたします。

工事範囲

区分	No.	除外工事の内容
建築工事関係	1	各階出入口まわり壁の穴あけ工事およびその仕上げ工事(出入口、押しボタン、乗り場表示灯用) ・コンクリート躯体誤差が30mm以上あるときは補正工事をお願いします。
	2	乗り場出入口の敷居取り付け用かき込みまたは敷居受け床持ち出し工事
	3	修理および据付工事で吊りフック(RC構造)・吊りビーム(鉄骨構造)の昇降路頂部への設置工事
	4	昇降路間仕切りまたは中間ビームの製作および取り付け工事(必要な場合)
	5	エレベーター出入口まわりの壁および床その他建築補修仕上げ工事(モルタル詰め他)
	6	ピット内防水仕上げ工事(必要に応じて排水工事も含む)また、ピット内仕上げ面の水平度は1/200以下としてください。
	7	ピット寸法が図面と異なる場合の誤差修正(はつり・埋め戻し)工事
	8	通過階がある場合の昇降路救出口設置工事およびかご床先から昇降路壁まで125mm以下とする工事
	9	鉄骨構造の場合の三方枠、敷居、押しボタン、インジケーターなどの固定用鋼材の設置工事
	10	鉄骨構造の場合のレール取り付け用ファスナー(各段)設置工事およびさび止め塗装工事
	11	各階のレール支持用H形鋼柱設置工事・PC構造に於けるインサート埋め込み工事
	12	三方枠、インジケーターまわりの防火区間処理工事
	13	鉄骨構造階における構造材の耐火処理工事
	14	昇降路と居室が隣接する場合の居室防音および防振工事
	15	併設されたエレベーターの最下階が異なる場合のピット間仕切り工事
電気工事関係	16	昇降路最下階の制御盤までの動力電源(200~220V/400~440V)、照明電源(100V)および接地線の引き込みならびに継ぎ込み工事 (エレベーター工事の着工前まで本設配線で引き込み願います) ・制御盤の一次側ターミナルに接続ください。
	17	ピット点検用コンセントの設置
	18	昇降路から外部設置のインターホン、監視盤他エレベーターに必要な配管配線工事
	19	昇降路頂部の煙感知器の設置工事(自動火災報知設備を設ける建物の場合)
	20	リモートメンテナンス用として電話中継盤から昇降路内までの配管配線工事
	21	火災時管制運転付きの場合の火災報知器接点の引き込み工事
	22	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事
	23	監視盤までの監視盤用電源(予備電源有)の引き込み工事
	24	停電時の非常電源切替装置(自動)および電源切替識別接点の配管配線工事
その他確認事項	25	エレベーター部品搬入経路の確保(必要に応じてコンクリート穴あけおよび埋め戻し工事)
	26	エレベーター据付用および試運転調整用電力、工事用水、砂、セメントの供給
	27	据付工事員現場詰所および材料置場の確保
	28	昇降路内建築工事仮設床(水平養生)用の金網、デッキプレートなどの撤去工事
	29	エレベーター着工前までの各階出入口開口部の養生設置工事
	30	エレベーターを工事用に使用する場合は別途ご用命ください。

- (注) 1.昇降路内にエレベーターに関係のない用途の配管・ダクトなどが露出しないようにしてください。
 2.昇降路内温度は最低+5℃、最高40℃以内とし、湿度は月平均90%、日平均95%を超えないようにしてください。
 3.昇降路は有毒ガスや、はなはだしい塵埃などが入らないようにしてください。
 4.出入口が屋外に面する場合、出入口まわりにひさし、水きりなどを設け、雨水が昇降路内に流れ込まないよう十分配慮願います。
 5.昇降路内壁や鉄骨部材に使用する塗料、接着剤、モルタルなどはホルムアルデヒドの発散が少ない材料を使用してください。
 6.電源電圧の変動は-10~+10%以内、電圧不平衡率5%以内に保つよう電源を設置願います。